

◆96バンクーバー国際映画祭ヤングシネマ部門グランプリ◆韓国映画批評家協会賞◆新人監督賞◆最優秀音楽賞◆東京国際映画祭ヤングシネマコンペティション正式出品
 ◆97ロッテルダム国際映画祭タイガー賞(最優秀作品賞)◆ベルリン国際映画祭ヤングフォーラム正式出品◆香港国際映画祭招待

豚が井戸に落ちた日

The Day a Pig Fell into the Well

世界を揺るがせた
 愛と孤独の不協和音!
 鮮烈のアンアン・ムービー・センサー・シヨソ!

'96バンクーバー国際映画祭
 グランプリ受賞
 '97ロッテルダム国際映画祭
 最優秀作品賞受賞
 ホン・サンス監督作品

出演◦キム・ウイソク
 ハク・ジンジン
 イウンキョン
 チョ・ウンスク

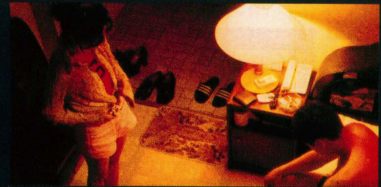
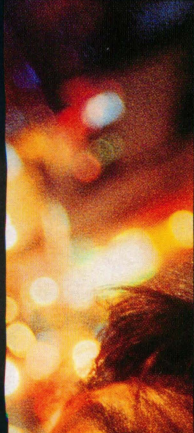
製作◦イウソク
 企画◦イホソク
 撮影◦チョドングアン
 脚本◦ホン・サンス
 チョン・デソク
 ヨ・ヘヨク
 キムアラ
 ソシネ

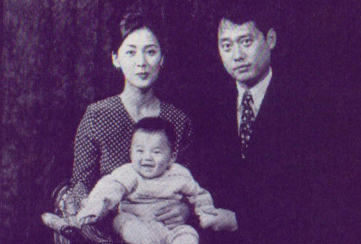
音楽◦オク・キルソ
 原作◦ク・ヒョソク

1996年製作◦114分
 韓国映画◦35mm◦1:1.85

LEE EUNG-KYUNG ◆ KIM UI-SUNG
 SUNG EUN-JAE ◆ CHOI EUE "MIN" ◆ HA DAE-KYUNG ◆ SON MIN-SEOK
 CHUN HAE-RONG ◆ CHO EUN-SOOK
 HONG SANG-SOO CAST
 PANG EUN-HEE ◆ CHUN HAE-RONG ◆ CHOI EUE "MIN" ◆ HA DAE-KYUNG ◆ SON MIN-SEOK
 KOO MYO-SEO Producer ◆ LEE HOO-SEOK Director
 YEO HAE-YOUNG ◆ KIM DE-ANG ◆ SEO SHIM-SOO
 HONG SANG-SOO ◆ CHUNG DAE-SUNG ◆ YEO HAE-YOUNG ◆ KIM DE-ANG ◆ SEO SHIM-SOO
 Original Story ◆ ANWANIK S.C.I ◆ Music ◆ OK KIL-SUNG
 Adaptation ◆ HONG SANG-SOO ◆ Photography ◆ CHUNG DAE-SUNG ◆ Editor ◆ YEO HAE-YOUNG ◆ KIM DE-ANG ◆ SEO SHIM-SOO
 Manager ◆ LEE HO SUNG ◆ Director of Art ◆ LEE HO SUNG ◆ Production Office ◆ ANWANIK S.C.I ◆

配給◦パンドラ





1996年製作○114分○韓国映画35mm○1:1.85

豚が井戸に落ちた日

The Day a Pig Fell into the Well

ホン・サンス監督作品



『豚が井戸に落ちた日』は過去の韓国映画のいづれにも類似性を見出すことはできない。(中略)若者そして中年の感情、欲求不満、怒り、情熱、恐れ、それらすべてが1996年、大都会のある一地域という限られた時空の中で生起する。それは皮肉で、滑稽でもあり、驚くほどの的を射ている

トニー・レイズ(映画評論家 バンクーバー国際映画祭プログラムより)

『豚が井戸に落ちた日』が韓国映画界に与えたショックは、ほとんど**メガトン爆弾級**だった。落とされた側は大慌てで「従来のドラマツルギーにとらわれない傑作」とか「ストーリーテリングを主にした単なるメッセージの伝達ではない」とか「西洋で定着した映画文法とは異なる独自の韓国映画の文法を発見した」とか賞賛した。手元にある韓国のマスコミの記事を読んでみると、その凄さをなんとか捉えようとしてうらたえているのが、よく判る。

しかし、起承転結にとらわれない映画などいくらでもあるし、それをこの韓国映画独自の文法だというのは、ちょっと強引すぎやしないかという気がする。こういう映画は、国内での評価はめっぽう高いが、一歩

世界の舞台に出てみると、一転して「よくあるパターン」の映画になってしまうことが多い。ところが『豚が井戸に落ちた日』が各地の国際映画祭で上映されると、海峡を越え、国境を越えて、世界各地で新たな賛辞の声が上がり、響きあい、長く尾を引き、今なお共鳴しあっている。この映画を語るのに韓国映画史上云々というような形容句はもはや必要としないようだ。

そもそも、『豚が井戸に落ちた日』は奇をてらった映画ではない。起承転結は一見おぼろげながらも、話の骨格はきちんと構築されているし、登場人物の行動をカメラは丁寧に追っていく。—とはいうものの、登場人物は解釈の糸口となるような台詞は一切語らない。では、映像が雄弁に語るのかといえば、解釈の言葉が透けて見

えるような記号的な映像もここにはない。わかりやすい心理描写の技法として、通常の映画ではよく現れる(夢)も、不思議な魅力方をたえたままの姿で、我々の前に現れる。

しかし、テーマは明確だ。『豚が井戸に落ちた日』は、愛についての映画である。登場人物の4人はそれぞれ愛を求め、孤独を持って余し、癒されようとしてもがく。やがて、映画はじっくりとその孤独を、切なさを、哀しみを、笑いをもあぶりだし、人生をまるごと観客にぶつけてくるかのような迫力を持って、ゆっくりと進む……。そう、『豚が井戸に落ちた日』は実に正統的な傑作なのである。その堂々たる映画っぷりに世界が思わずよろめいたのだ。

さまよう恋人たち

- ミンジェ
女性 23歳 映画館のモギリ。ヒョソブに尽くし続けるが、仕事の合間に別のアルバイトの面接に行くという現代娘。仕事の帰り、プレゼントを持ってヒョソブのアパートに行くと、中から現れたのは……。
- ヒョソブ
男性 38歳 売れない作家。新作を売り込みに行くが、どの編集者からも相手にされない。人妻ポギョンと不倫中。ピンボーな彼は自分に好意を抱いている若いミンジェに金をせびって生活をしのいでいるが……。



- トンワ
男性 40歳 サラリーマン。仕事中に洋服がちょっと汚れただけなのに着替えなければ気がすまない超潔癖症。その上、妻のポギョンが自分のいない昼間何をしているのか気になって仕方ない……。
- ポギョン
女性 25歳 トンワの妻。ヒョソブと不倫中。ある日ファースト・フード店でヒョソブを待っていると、夫のトンワが何かに憑かれたように、脇目もふらずに歩いてくるのを目撃する。後をつけてみると……。

配給○パンドラ
〒104東京都中央区新富2-5-11正福寺ビル2階 Tel.03-3555-3987

6月21日(土)よりレイト・ロードショー

連日夜9時20分より1回上映

○特別鑑賞券 ¥1400 [当日一般 ¥1800/大・高生 ¥1500/シニア ¥1000]
毎週金曜日は日本語・英語字幕付を上映
土曜日～木曜日は日本語字幕付
毎週水曜日のみ ¥1000均一 詳しくは劇場までお問い合わせください

テアトル新宿

○新宿駅東口・伊勢丹新館隣り ☎03(3352)1846